

# 遮熱塗料EP3000Kの塗装仕様書

## 塗装用具

EP3000Kは刷毛塗り、ローラー塗り、スプレー（エアレス）塗装のいずれも可能です。

## 乾燥時間

EP3000Kは水性で常温乾燥型塗料です。気温と湿度によって乾燥時間が異なりますが、夏場は30～40分、冬場は60～90分（いずれも指触乾燥）が目安です。

## 塗装工程

工程	塗料名	希釈率 (%)	塗装方法	塗布量 (kg/m <sup>2</sup> )	塗装回数	塗装間隔 (20 )	
素地調整 (塗替えの時)	表面の苔及び旧塗膜の浮きや剥がれをワイヤーブラシ、皮スキなどで除去する。 高圧水洗いでゴミ、苔、汚れを完全に除去する。(高圧水洗は150kg/m <sup>2</sup> 以上の圧力が必要です。)						
窯業 基材	下塗 1	SLプライマー	0～5	ハケ、ローラー	0.15～0.2	1	2H～3H
	上塗	EP3000K (ホワイト、淡彩)	0～5	ハケ、ローラー、 エアレス	0.2	2	3H～5H
金属 基材	下塗 2	エピソード#100 Fプライマー	10～15 5	ハケ、ローラー スプレー	0.15～0.2	1	7H以上
	上塗	EP3000K (ホワイト、淡彩)	0～5	ハケ、ローラー、 エアレス	0.2	2	3H～5H
塩ビ 基材	下塗 3	スチーマックラ	0～5	ハケ、ローラー エアレス	0.1～0.12	1	3H～5H
	上塗	EP3000K (ホワイト、淡彩)	0～5	ハケ、ローラー、 エアレス	0.2	2	3H～5H
塩ビ シート	下塗 4	エピソード#100 Eシーラ	10～15 5	ハケ、ローラー エアレス	0.15～0.2	1	7H以上
	上塗	EP3000K (ホワイト、淡彩)	0～5	ハケ、ローラー、 エアレス	0.2	2	3H～5H

- 1 適用基材:セメント瓦、波型スレート、スレート瓦、カラーベスト
- 2 適用基材:鋼板屋根、トタン板、金属素材類
- 3 適用基材:塩化ビニル樹脂、FRP素材、プラスチック
- 4 適用基材:塩ビ製防水シート
- 5 金属基材及び塩ビシートの下塗りにしようする「エピソード#100Fプライマー」の希釈にはIボキシ樹脂シンナーを使用下さい。
- 6 上塗時にローラーを使用する場合は、中毛仕様のローラーをご使用下さい。

注1 着色仕上げの場合は、EP3000Kを塗布後8～12時間乾燥させてから、薄膜型遮熱塗料のSLトップコートを上塗りして下さい。一般塗料で上塗りした場合は太陽光を吸収して遮熱効果が著しく低下しますので、ご注意下さい。

注2 モルタルの場合は「窯業基材」の塗り方で適用しますが、SLプライマを塗る前に浸透性シーラを120～150g/m<sup>2</sup>塗ると更にきれいに仕上がります。

注3 基材が木材の場合は、ウッドシーラで下塗りしてから、EP3000Kを塗って下さい。

## 使用上の注意

### (1) 塗装用具について

EP3000Kはハケ塗り、ローラー塗り、吹付塗装のいずれも可能です。

吹付塗りにはエアレス(圧縮比=20:1)を用いて、塗装圧60～90kg/cm<sup>2</sup>で行って下さい。

塗圧が高すぎると塗料のはね返りが多く、流れ易く不均一になり易くなります。

また、塗圧が低すぎると必要な膜厚が得られず作業能率が低下します。

なお、塗装機の細かいフィルターは外してご使用下さい。(ビーズによる目詰まり防止。)

### (2) 粘ちゆう度について

EP3000のK粘ちゆう度はビスコメスター粘度計で約85ポイズ(25℃)です。

通常は希釈せずにこのままで使用しますが、特に低温で高粘度状態の場合、素地の温度が高く塗り難い時は水道水で希釈してご使用下さい。(5%以内)

EP3000Kには沈降物はほとんど発生しませんが、長期間(1週間以上)保存しておく

セラミックビーズが塗料の表面に配列し上層部分がシャベット状になります。この場合には攪拌機で徐々に攪拌して全体を均一な状態にしてからご使用下さい。

## 注意事項

(1) 使用前に塗料を十分に攪拌して下さい。

(2) 5℃以下での塗装は避けて下さい。

(3) 塗装後の最低10時間は雨や水に濡れない様に注意して下さい。

(4) 塗装が衣服等に付着した場合は直ぐにプライマーは専用シンナーで、上塗りは水で洗浄して下さい。

(5) 塗装が冷暗所にて保管して下さい。(但し、0℃以下は避けて下さい。)

プライマー類は別途エピソードのカタログをご参照下さい。



ハケ塗り



ローラー塗り



スプレー塗り